

特許取得！

自動仕訳の会計管理システム

助っ人 中島くん

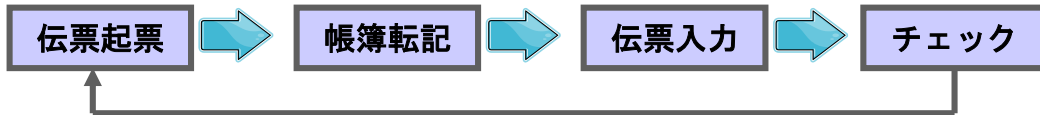


リアルタイム経営導入を成功に導く会計システム！
仕訳パターン入力で会計業務の効率化を実現！

会計業務にありがちな課題

請求書や領収書から仕訳伝票への起票、帳簿の記帳など同じ数字を何度も転記したりシステムに入力することで、残高がいつのまにか合わなくなりチェック作業が発生
⇒ このなぜか合わない残高を合わせるために経理担当者は多くの時間を費やしています…

本来の仕事は、会社の動きをお金の動きでつかみ、数字から見える課題を社長や経営陣に報告しなければならないのに…



経理担当は忙しい！

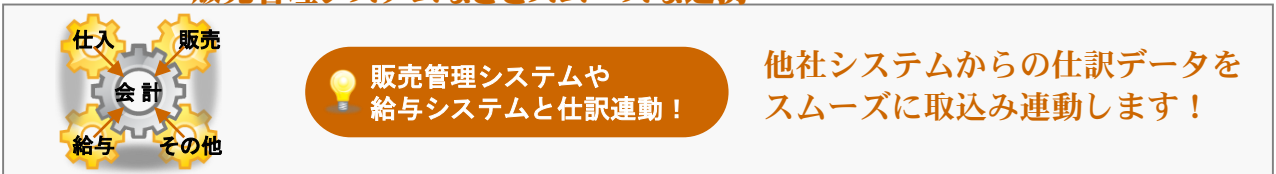
課題を解決するためには・・・

ミスの起きない会計処理 ...→ つまり・・・起票や転記作業を廃止し
伝票入力を極力少なく出来れば良い！

POINT.1 究極の短縮入力を実現



POINT.2 販売管理システムなどとスムーズな連携



POINT.3 支払計画から支払処理までを自動化



仕訳パターン入力例

仕訳入力 [部署: [ユーザー:石田]

経理日 2010/04/05 起算日 / / 部署 40 総務部

取引先 12 100円SHOP ①

仕訳パターン 5 雑費/現金

プロジェクト

表題 事務用品購入 仕訳No. _____

借方	借方				金額/消費税	②	貸方				金額/消費税		
	事所	部門	担当	科目			事所	部門	担当	科目			
1	999			312	2,857	1	999		101	3,000			
			事務用品費	5 課税	143				現金				
					5%								
借方消費税 143					借方計 3,000		貸方消費税					貸方計 3,000	

管理会計 0 決算仕訳 0 ネットワーク-除外 0 付箋 0

仕訳の入力は、用意された仕訳パターンを利用して

①取引先を選択

②金額を入力

借方/貸方を意識しなくても、入力箇所を自動で選択します！

システム範囲

